

個性を見守るのも子育ての楽しみ

1歳5カ月（2023年9月）

靴を買いました。

衣類やベビーグッズは、中古やレンタルが多いなか、新品をインターネットで購入しました。店舗よりは安かったです。

ファーストシューズだから記念にもなると思ったのと、何よりも、歩けるようになったことが、私自身うれしくてならなかったのだと思います。

さっそく家の中で練習です。

はだしではスタスタ歩くのに、靴を履くと全然歩きません。

靴で歩くことに慣れない様子で、一步踏みだすのにも、時間がかかりました。

それでも、靴に戸惑っている様子すらかわいらしく、写真や動画を撮り、がんばったねと子どもをほめました。

何ごとも「初めて」は、良いものですね。

日々の生活の中で、子どもの特徴や性格について、時々気がつくことがあります。

ちょっと冷静な目で子どもを分析してみる時間は、あわただしい毎日の中で、ちょっとした息抜きになります。

赤ちゃんの頃から「あれ？もしかしてこの子は〇〇なのかな？」と思うことがありました。

例えば、「好き嫌いがはっきりしている」「あまり甘えん坊ではない」等です。

そろそろ1歳半となって動きが活発になり、その動きから何となく性格が伺えるような機会も増えてきました。

そんな中で、子どもの個性を強く意識する出来事がありました。

年の近い、いとこ宅で室内遊びをしていた時のことです。

いとこは、たくさんあるおもちゃをあれこれ子どもの所へ持ってきてくれます。

子どもは無言で受け取り、遊んでいたかと思うと、すぐにいとこが遊んでいるおもちゃをちょうだいと身振り手振りを交えながら「あーうー」と強めに要求しています。

いとこはすんなり子どもにおもちゃを渡し、別のおもちゃで遊び始めました。

すると、今度はそれをちょうだいと要求し、またいとこが渡してくれます。みるみるうちにおもちゃの山ができました。

私は衝撃を受けました。そんなことをするのかという驚きと、成長は感じるもののやめてほしいという大人側の都合と、いろいろなことを思い、あっけにとられてしまいました。

この年頃の子には皆よくあることなのかもしれませんが、次々に興味が移る切り替えの早さや相手にしっかり主張する強さを感じました。

これは子どものほんの一面に過ぎず、成長とともに変化していくとは思いますが、このような気づきも子育てのおもしろさの一つかもしれません。

だんだんと周りのお友達や大人とも仲よくできるように、子どもの個性を大切にしながら、親ができることはしっかり取り組みたいとは思いつつ、まずは気長に、楽しみながら見守りたいです。

2歳4カ月（2024年8月）

だんだんおしゃべりが達者になり、言葉での意思疎通がかなりスムーズになってきました。

二語文三語文から進歩し、時々はごによごによと何やらひとりごとのように長めのお話をしており、耳を傾けるとおもしろいです。

イヤイヤ期については、本人の気が向くまで待ったり、何かする時は複数から選ばせたりすると、うまくいくことが多いです。

が、もちろん機嫌や体調が悪い時は、手がつけられない位にワーワー泣く時も、しばしばあります。

好きな遊びはいろいろありますが、その中でも急に「手をつないで歩く」遊びを始めたのでびっくりしました。

ある日、家の中でにこにこしながら「てってつなごー」と言い手を伸ばします。私の手を握って楽しそうに歩き始めました。

しばらくの間、あっちへ行ったりこっちへ行ったり散歩します。

何だか感激してしまいました。今までほとんど子どもと手をつないで歩いたことがなかったのです。

子どもが手をつなぐことを嫌がるというよりも、歩き始めてからもずっと子どもの背が低すぎて、手をつなぐのが難しかったのです。

大人がかなりかがまないと届かず、苦しい体勢となってしまうのです。

今、少しひんやりしたやわらかい小さな手の感触には、何ともいえない幸せをもらえます。

これこそ今だけのものだなと思いながら、きっと間違いなく子どもより私の方がこの散歩タイムを堪能しています。

子どもと一緒にスーパーへ買い物に行くのは大変です。

以前は機嫌よく赤ちゃんカートに乗っていたので非常にスムーズに買い物できました。

これなら楽々だなと思い、急ぎ足ではあるものの、買い物を楽しむ余裕もありました。

しかし、それは一時期のことでした。

やがて、カートに乗らずに自分がカートを押したいと言って、地面にはいつくばるようにぐいぐい押すようになりました。

少し危ないし、周りの迷惑になりかねないし、ついて歩くのが大変です。

そんな時期も過ぎ、カートに興味がなくなったのか、好き勝手に店内を歩き回ってペタペタ商品をさわったり、気に入ったもの（大体キャラクター商品）をギュッと握って離さなかったりするようになりました。

私は青くなりながら店内を行ったり来たりし、あれこれ言い聞かせてもみるのですが、まだ聞く耳を持たないのか「ちがう！」「いや！」と、好き放題にしています。

今までのようなスムーズな買い物どころか、もう必要最低限の物を買うのすら一苦労です。

宅配で買う量を増やしたり、スーパーへ行くのは家族と一緒に週末にしたりして、あまり子どもと二人で行かないようにしています。

子どもを買い物に連れて行くのは、社会のルールを学んだり、親以外の人と接したり、子どもにとって良い機会となるはずとは思うのですが、子どもに振り回されっぱなしの買い物が日常になると、とても親の体力気力が持ちません。

たまに余裕がある時にだけ、チャレンジしています。

ではまた来月・・・。

最後までお読みくださり、ありがとうございました！